

1日目 3/9〈月〉

13:30~13:45 開会挨拶 江面 浩 (筑波大学/T-PIRCセンター長)

第一部 遺伝資源の取り扱いに関するミニシンポジウム

13:45~14:45 海外生物・遺伝資源のアクセスとフィールド調査の留意事項
渡邊 和男 (筑波大学/T-PIRC副センター長)

14:45~15:05 休憩

第二部 形質転換植物デザイン研究拠点令和元年度成果報告会

Session 1 【座長】大澤良 (筑波大学T-PIRC)

15:05~15:25 効果的なコミュニケーション活動のための情報基盤整備
山口 富子 (国際基督教大学)

15:25~15:45 ヒメツリガネゴケにおける窒素応答現象の解明
養老 瑛美子 (立教大学)

15:45~16:05 ミヤコグサ根粒を用いた有用物質生産プラットフォーム開発に向けた基盤研究
川勝 泰二 (農研機構)

16:05~16:25 休憩

Session 2 【座長】松倉千昭 (筑波大学T-PIRC)

16:25~16:45 植物によるアグロバクテリウム認識システムを解明する
門田 康弘 (理研CSRS)

16:45~17:05 ハマウツボ科寄生植物の安定的形質転換法の確立
吉田 聡子 (奈良先端科学技術大学院大学)

17:05~17:25 ベタレイン色素合成経路の導入によるアサガオの新規花色の分子育種
佐々木 伸大 (東洋大学)

2日目 3/10〈火〉

Session 3 【座長】柴博史 (筑波大学T-PIRC)

9:30~9:50 高温耐性をもつ接ぎ木トマトの特性解析
西口 正通 (愛媛大学)

9:50~10:10 マイクロトムのカロテノイド酸化開裂酵素CCD7欠損変異体の探索
梅原 三貴久 (東洋大学)

10:10~10:30 生物多様性影響評価の基盤となるアサガオゲノム中の
T-DNA配列の解析手法の開発
小野 道之 (筑波大学)

10:30~10:50 休憩

Session 4 【座長】渡邊和男 (筑波大学T-PIRC)

10:50~11:10 バレイショ近縁種からの環境ストレス耐性形質導入
波部 一平 (長崎県農林技術開発センター)

11:10~11:30 遺伝資源の共有財産としての保全と利活用に関する
制度枠組みとしての地理的表示保護の活用実態
内山 倫太 (名古屋大学)

11:30~11:50 デジタル配列情報/遺伝的配列データを巡る食料農業植物遺伝資源に関する
国際条約における抗争 一条約実施と科学的知見の相互作用の観点から
小林 邦彦 (総合地球環境学研究所)

11:50~12:00 閉会挨拶 柴 博史 (筑波大学/T-PIRC/形質転換植物デザイン研究拠点長)

令和元年度 成果報告会

形質転換植物デザイン研究拠点

事前参加登録不要

日時

令和2年

3/9〈月〉・3/10〈火〉

13:30▶17:25 9:30▶12:00

場所

筑波大学春日エリア情報メディアユニオン3階
共同研究会議室1 (茨城県つくば市春日1丁目2)



つくば機能植物イノベーション研究センター

Tsukuba-Plant Innovation Research Center



筑波大学T-PIRC遺伝子実験センター

形質転換植物デザイン研究拠点



<https://gene.t-pirc.tsukuba.ac.jp>